



イラク5事業関係者集合写真  
(イラク石油省側11人+日本側23人)



イラク地層水共同事業協定書署名式  
(中央右:イラク石油省カリム アルワンPetroleum R&D Center長を挟んで、  
右から水ing 北村常務、JCCP平岡特命参与、  
(一財)造水促進センター(WRPC)平井常務)

広報2015-16 2015年(平成27年)2月8日、トルコ・イスタンブールにて、イラク石油省との5事業の年度末報告会および地層水共同事業の協定書署名式を執り行いました。これにて4年間のアスファルトおよび2年間の潤滑油の2共同事業は当初目的を達成し、イラクでの種々の問題解決に十分資するとの高い評価と感謝をイラク側より得、事業終了となりました。

署名式実施の地層水共同事業では、タイヤラット地層水を処理する技術の移転を全3年間で行い、イラク側の水不足解消のための重要なステップを担います。また、腐食防食事業およびGTL事業も、順調な進捗が確認されました。